

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成22年2月2日
【会社名】	日揮株式会社
【英訳名】	JGC CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役会長 竹内 敬介
【本店の所在の場所】	東京都千代田区大手町2丁目2番1号
【電話番号】	東京03(3279)5441(大代表)
【事務連絡者氏名】	取締役財務本部長 須賀 啓孔
【最寄りの連絡場所】	横浜市西区みなとみらい2丁目3番1号(横浜本社)
【電話番号】	横浜045(682)1111(大代表)
【事務連絡者氏名】	取締役財務本部長 須賀 啓孔
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【提出理由】

当社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号および第19号の規定に基づき提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 当該事象の発生日

平成22年2月2日

(2) 当該事象の内容

当社の米国子会社であるJGC Energy Development (USA) Inc. は2006年8月にルイジアナ州リトルレイク油ガス田を含む鉱区の権益の50%を取得し、引き続き2007年8月には残りの50%の権益を追加取得し、100%自社保有鉱区のオペレーターとして、油ガス田開発・生産事業を実施中であります。

しかしながら、新規掘削による追加埋蔵量の確保が当初の想定を大幅に下回ったため、同社は2009年度決算において損失を計上する見込みとなりました。その結果を受けて当社の総投融資額の内、回収困難であると見込まれる額を、第114期第3四半期連結会計期間（平成21年10月1日から平成21年12月31日）において、以下のとおり損失計上する予定です。

なお、既に商業生産中の原油および天然ガスについては、引き続き生産・販売を継続する予定です。

(3) 当該事象の損益および連結損益に与える影響額

1) 個別決算

JGC Energy Development (USA) Inc. に対する当社の総投融資額の内、回収不能見積り額につき、「関係会社株式評価損」として63億64百万円の特別損失および貸付金に対する「貸倒引当金繰入額」として19億36百万円の営業外費用を計上する予定です。

2) 連結決算

JGC Energy Development (USA) Inc. を第114期第3四半期連結会計期間（平成21年10月1日から平成21年12月31日）より重要性が高まったことにより新規連結を行い、49億68百万円を損失（内、「減損損失」38億67百万円）として計上する予定です。なお、同社の昨年度までの累計損失額35億46百万円は連結貸借対照表の「純資産の部」の期首剰余金を直接減額することになります。

以 上